

◆ おらほの地域から元気発信 ◆

まちづくりなみえ 地域づくり支援専門員が見た苅野地区

地域の紹介

苅野地区

苅野地区では田畑など農地を持つ人も多く、居住している人も避難中の人も農作業を通してつながっている様子がたびたび見受けられます。特にコメづくりについては避難指示解除後、少しずつではあるものの作付面積も増え、秋には黄金色の田んぼを見ることも多くなってきました。田植えや稲刈りなどの共同作業を取材すると、集まった皆さんが気兼ねなく和やかに交流する様子もうかがえます。

環境保全会などが中心となって取り組む花壇の花植えなどでも、参加する人や世代が幅広くなってきています。公道わきに咲く花々も、地域の皆さんの手がかかって私たちの目を楽しませてくれているとあらためて感じます。

暮らしの息吹が少しずつ感じられる地域がある一方、帰還困難区域に指定された室原行政区は、ようやく一部が特定復興再生拠点として来春の避難指示解除に向けて動き出しています。

準備宿泊の始まった特定復興再生拠点内では、家屋の取り壊しやリフォーム工事など、景色が変わっていく様子が11年を過ぎ見え始めてきました。その反面、特定復興再生拠点外の地域は住民の帰還意向の確認や除染といった具体的な動きはまだまだこれからの状況です。

進んでいることも進まないこともしっかりと直視し、これからも情報発信をしていきます。



協力して田植え作業



花植えで綺麗な景観づくり

地域づくり支援専門員
今野 聡がレポート
しました。



町のできごと

権現堂1区から8区行政区



危険箇所をメモをしながら歩きます



防犯まちあるき活動

8月26日(金)、権現堂1区から8区までにおいて行政区で防犯まちあるきが実施されました。

日暮れ時に役場からスタートして浪江駅前までの間を、木による標識の隠れ、道路の亀裂陥没や街灯の無点灯など、危険箇所がないか確認をおこなひながら歩きます。チェック箇所は、区長から町や県などに相談し、地域の安全へ繋がります。年2～3回実施し、次回は12月におこなひ予定です。



2班に分かれて区長と住民と一緒に歩きます

地域づくり支援専門員
吉田めぐみがレポート
しました。

